

通信

Hiroshima International Center

Vol. 74
October 2011

平成23年度 留学生奨学金決定通知書授与式・交流会を開催しました！

今年度のひろしま国際センター留学生奨学金受給者が決定し、去る7月5日(火)に留学生奨学金決定通知書授与式・交流会を開催いたしました。

この奨学金のうち、県内47の企業・団体からのご協力による「企業等協力留学生奨学金」は53名、県民の皆様からのご協力による「県民支援留学生奨学金」は2名、ひろしま国際センターの一般財源による「センター留学生奨学金」は7名、合計62名の私費留学生に月額3万円を1年間支給することとなりました。

授与式では、ご協力いただいた企業・団体の代表者から、奨学生一人ひとりに決定通知書が手渡されました。

また、5年・10年・15年・20年と長きにわたり継続して奨学金事業にご協力いただいた8の企業・団体の代表者に、高木会長から感謝状が授与されました。

続いて、奨学生を代表して広島文化学園大学の 胡 焜 さん(中国人留学生)が「留学生のみなさんを代表して、私と同様、研究や勉強に専念できるように、温かく厚いご支援を下さる皆様に、心より感謝申し上げます。」とお礼の挨拶を述べました。

授与式の後に行われた交流会では、奨学生は各テーブルに分かれ、それぞれご協力いただいた企業・団体の皆様と歓談し、奨学金に対する感謝を述べるとともに、日本と母国との懸け橋になれるよう頑張るとの決意を表明しました。また、留学生の受入促進や勉強・生活、就職支援等を一元的に行うために設立された「広島県留生活活躍支援センター」も奨学生や企業の方々にに対し、積極的なPR活動を行う等、留学生支援の環境作りも大きく進み始めました。

ご協力いただきました企業・団体の皆様、県民の皆様ありがとうございました。(次頁へつづく)

(HIC 西山)



挨拶する高木会長



決定通知書授与式



奨学生を代表して挨拶する 胡 焜 さん



テーブルごとに記念撮影(交流会)

目次

2面 交流部だより
5面 国際プラザニュース
7面 こちらJICAデスク
8面 サミット加盟団体だより

9面 Upcoming Events News
11面 Hello Hiroshima
12面 HICからのお知らせ 他

留学生奨学金へのご協力ありがとうございました。

今年度「企業等協力奨学金制度」にご協力いただいた企業・団体は以下のとおりです。

「企業等協力奨学金制度」協力企業・団体一覧（50音順・敬称略）

株式会社あじかん
株式会社アスティ
株式会社石崎本店
株式会社いとや
株式会社ウッドワン
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国支社
賀茂鶴酒造株式会社
カルビー株式会社広島西工場
コカ・コーラウエスト株式会社
国際ソロプチミストウエストひろしま
国際ソロプチミスト広島
国際ソロプチミスト平和広島
住野工業株式会社
株式会社第一学習社
株式会社大創産業
財団法人多山報恩会

株式会社中国新聞社
中国電力株式会社
株式会社中国放送
株式会社中電工
中電プラント株式会社
株式会社テレビ新広島
株式会社東洋シート
トーヨーエイトック株式会社
南条装備工業株式会社
西川ゴム工業株式会社
バブcock日立エコクラブ
広島アルミニウム工業株式会社
広島ガス株式会社
株式会社広島銀行
社団法人広島県医師会
財団法人広島国際文化財団

広島信用金庫
広島テレビ放送株式会社
広島電鉄株式会社
株式会社広島東洋カープ
株式会社広島ホームテレビ
ヒロボー株式会社
株式会社福屋
株式会社ブローバ
マツダ株式会社
株式会社マツダE&T
マツダエース株式会社
マロックス株式会社
三島食品株式会社
株式会社もみじ銀行
株式会社モルテン

合計 47企業・団体

（敬称略）

20年連続ご協力 1団体

財団法人広島国際文化財団

15年連続ご協力 1企業

三島食品株式会社

5年連続ご協力 1企業

南条装備工業株式会社

10年連続ご協力 5企業

株式会社第一学習社

株式会社中国新聞社

中電プラント株式会社

広島電鉄株式会社

株式会社福屋

ご協力ありがとうございました。

等協力・県民支援・センター 留学生奨学金決定通知書授



10年連続ご協力企業

野呂山散策、岩海太鼓鑑賞と筆作り体験

7月3日(日)に日本文化理解促進事業第2弾となる「野呂山散策・岩海太鼓鑑賞と筆作り体験」を呉市国際交流協会と共同で開催し、12カ国、43名の広島在住外国人に参加いただきました。

まずは、呉市川尻公民館にて岩海太鼓演奏の鑑賞と体験を行いました。その後、野呂山までバスで移動し、昼食をとった後、筆作り体験を行いました。

参加者からは「日本文化に触れることができてよかった」「様々な国の方と交流できた」等の意見が寄せられ、大変満足された様子でした。

なお、事前の準備ではボランティアの方々にお手伝いいただき、当日の運営でも大活躍でした。

(H I C 大辻)



岩海太鼓演奏を体験する参加者たち

《予告》

10月以降の日本文化理解促進事業として、11月13日(日)に「鞆の浦散策ツアー」、12月頃に「餅つき・しめ縄作り・そば打ち体験と神楽鑑賞」等を予定しています。詳細が決まりましたら、H I Cのホームページ等でご案内します。外国人住民の方、ボランティアの方、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

第4期「ひろしま国際塾」第2回公開講座開催

7月13日(水)に「世界の社会格差と世界銀行の役割」というテーマで、第2回公開講座を開催いたしました。公開講座は無料で一般の方も受講できる講座です。今回は、講師に世界銀行駐日特別代表谷口和繁氏をお迎えしました。新興国を中心に経済発展をしているものの、食糧・燃料の高騰やガバナンスの脆弱性のため、社会格差が引き続き大きな課題となっている世界の状況下における世界銀行や日本の役割についてご講義いただきました。

受講者からは、「世界の中の日本の位置がよく理解できた」、「インパクトのある話と裏づけが明確で世界のトップ機関の方の意見を伺うことができ貴重な時間だった」など、質問の尽きることのない反響の大きな講座でした。

(H I C 佐藤)

【講師】世界銀行 駐日特別代表 谷口 和繁 氏 ▶



第4期「ひろしま国際塾」ワークショップ開催

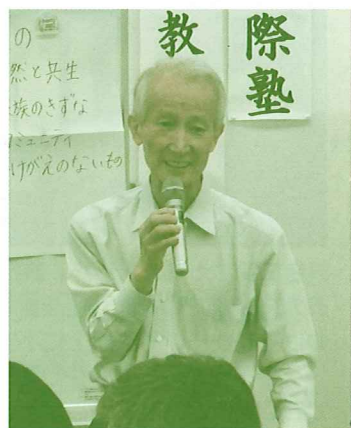
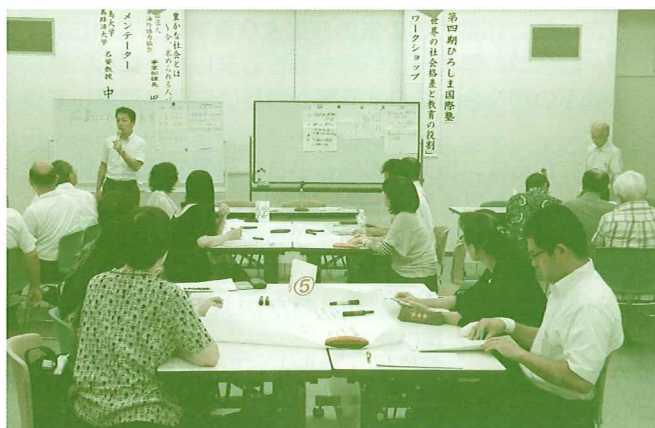
7月27日(水)、8月3日(水)の2日間にわたり「豊かな社会とは～今、求められる人づくりを考える～」をテーマにワークショップを開催いたしました。講師に、開発教育に携る社団法人青年海外協力協会から事業部課長堀田直揮氏を迎え、コメンテーターとして、持続可能な開発のための教育に携る、広島大学の中山修一名誉教授をお迎えしました。

豊かな社会とはどのような社会なのか、また、その社会づくりのためにどのような人が必要とされるのかについてグループで考えました。グループディスカッションにより今期国際塾で学んだことの再確認とまとめにもなり、塾生にとってはこれから地域で活動していくきっかけ作りにもなったようでした。

(H I C 佐藤)



【講師】(社)青年海外協力協会
事業部課長 堀田 直揮 氏



【コメンテーター】
広島大学 名誉教授 中山 修一 氏

日本語ボランティア支援講座開催

7月10日(日)に東広島市のひろしま国際プラザで日本語ボランティア支援講座を開催しました。

平成21年7月に公布された改正入管法について理解することを目的とし、NPO法人ビザサポートセンター広島の前田浩司理事長をお招きし、日頃難しく感じる入管制度について、分かり易く講演していただきました。

また、当センターの中国語専門相談員である向井弘子氏より、外国人と接して思うこと、感じることにについて実際の相談事例にも触れながら、講演していただきました。

(H I C 大辻)



《予告》

次回の日本語ボランティア支援講座は、11月を予定しています。
詳細が決まりましたら、H I C のホームページ等でご案内します。

外国人相談・日本語学習支援窓口担当者基礎研修会の開催

6月24日(金)と7月22日(金)の両日、第1回及び第2回の外国人相談・日本語学習支援窓口担当者基礎研修会をそれぞれ合同で開催しました。研修会は、日頃から外国籍住民と接する機会が多い市町の窓口・相談業務の担当者を主な対象として、外国籍住民への支援を行っていくうえで必要となる様々な知識を学んでいただくことを目的に、広島県からの委託によって昨年度に引き続き開催したものです。

第1回の研修会は「「ことば」について考える」をテーマに、「外国語体験」や「やさしい日本語とは？」についてワークショップ形式で行い、「ことば」が上手く伝わらない外国籍住民の心情を体験してもらうことや、やさしい日本語による対応をいかに実践していくかについて話し合われました。

また第2回の研修会では「外国籍住民・支援者の声を聴く」をテーマに、第1部では外国籍住民の方々と交えたワークショップ形式で行い、第2部ではNPO法人ビザサポートセンター広島の前田浩司理事長より主にビザの更新について、現場での経験を交えながら分かりやすく説明をしていただき、多文化共生についての理解を深めていきました。

両研修会では外国籍住民の方々にゲストとして場を盛り上げていただき、研修会後のアンケートも「実践的でわかりやすかった」、「異国で暮らす外国籍住民の苦労や不安を知ることができて良かった」等の感想があり、参加者にとって大変有意義な研修会になったのではないのでしょうか。
(H I C 當麻)

H I C新メンバー紹介

西原 倫子 (にしはら みちこ) …生活相談員



はじめまして。4月からH I Cで生活相談員として勤務している西原倫子と申します。

私は学生時代にイギリスで語学留学を経験した事が国際交流に興味を持つきっかけとなりました。10数カ国の学生が集まり食事をしていて、自然と全員が肩を組み、歌い、踊り、語らい、素晴らしい時を過ごしました。楽しい時間を共有したり、助け合ったり、時にはぶつかり合ったりする事がお互いの国を理解してゆく第一歩だと初めて感じた瞬間でした。

それからは、自分の出来る小さな国際交流から始めようと思い、外国人の友人の観光案内や、ホストファミリーをしてきました。

その後、旅行会社で、日本から海外へ行かれる方の旅行やホームステイなどの手配、手続きに関わってきました。旅行会社では、日本から海外へ行かれる方には色々なご心配があり、お力になりたいと思ってきましたが、H I Cに来館される外国人の方々は日本で生活をされるわけですから、それ以上に不安は大きなものであると思います。

その不安、心配事が少しでも軽減されるように、また、H I Cが来館者の皆様が楽しく交流できる場所、快適に過ごせる場所となるよう努力してまいります。

まだまだ慣れない事も多くご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますがよろしくお願い致します。

先輩相談員の尾崎さんと一緒に▶



Guillaume Lamothe (ギョーム ラモテ) …国際交流員

皆さん、こんにちは！ひろしま国際センターで働いている新しい国際交流員のギョーム ラモテと申します！広島市の姉妹都市であるカナダのモントリオール市から来ました“フランス系カナダ人”です。これから、皆のよく知っているグレッグ ベックさんの後任として、彼の功績をさらに充実させていきたいと思います！（できれば！笑）

実は、私は国際交流員の仕事は始めたばかりですが、日本での生活は三年目です。去年は福山市で外国語指導助手をしていて、2005年には交換留学生として埼玉県蕨市の高校で勉強しました。

その留学経験とその経験から始まった私と日本の関係のきっかけは全くの偶然から始まりました。中学校二年生から高校一年生に飛び級したため、年上の同級生に囲まれて孤独感を感じた私は、どこかで交換留学をしようと思いました。母がベルギー人で、なじみのあるヨーロッパには魅力を感じなかったので、地球儀を回してアジアに視線を向けました。15歳であった私は、世界のことをあんまり知らなくて、どこかで名前は聞いたことがあった三つの国を私の選択肢にしました。その三つの国は日本、ロシア、と中国でした。

お母さんに相談してみたら、その国の中で日本が一番安全であるから日本に行った方がいいと言われました。単純な理由であっても、彼女の言葉に従ったことを私は一度も後悔しませんでした。

皆さん、これから頑張りますのでよろしくお願いいたします。

※ラモテさんはHello Hiroshimaを担当 (P11へGo!)



ワールドクッキング教室受講者を募集中！

世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室は、後期の受講者を募集中です。教室は月1回で、火曜日クラス・木曜日クラスの2クラスです。料金は5回で7,500円です。興味のある方は是非、お問い合わせください。

トルコ料理 (平成23年8月) ▶

【参考～後期開催内容】

	第1回 11月	第2回 12月	第3回 1月	第4回 2月	第5回 3月
日 程	15(火)、24(木)	6(火)、15(木)	17(火)、26(木)	14(火)、23(木)	13(火)、22(木)

後期の料理は、キルギスタン料理、ボツワナ料理、フィリピン料理、ドイツ料理等を予定しています。

※日程や料理の予定は、事情により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



2011酒まつりに『ひろしま国際ひろば』ブース開設！(10時～16時)



10月8日(土)に開催される東広島市民最大のお祭り「酒まつり」に今年も参加します。東広島市中央生涯学習センター(旧：東広島中央公民館)においてJICA、JICEとの共催で、国際協力事業を紹介するとともに、外国人研修員とのゲームやお国紹介など楽しいイベントも用意しています。酒まつりにお越しの際は、中央生涯学習センターの「ひろしま国際ひろば」ブースをのぞいてください。

JR西条駅前では、なんでもボランティアのご協力を得て、外国語案内所を開きます。

◀みだればやし

10/28(金) 広島中央サイエンスパーク施設公開開催 (10時～16時)

東広島市鏡山の当パークに立地する研究機関等が施設の一般公開、講演会を行います(無料)。

研修部は、この日にひろしま国際プラザに在館する研修員の国旗を展示します。また、来場者には外国のお茶などの飲物を無料でサービスします(ただし数に限りがあります)。他の研究機関等でもこの日のための特別な実験を公開したり、楽しいイベントが開催されます。ぜひ広島中央サイエンスパークにお越しください。

11/5(土)～11/6(日) 東広島市生涯学習フェスティバル出展 (5日(土)：10時～16時、6日(日)：9時半～15時半)

東広島運動公園(アクアパーク)で行われるこのフェスティバルに、ボランティア募集ブースを開設します。

ボランティアは通訳だけではなく、竹馬やメンコなど伝統的な日本の遊びを紹介いただいたり、日本家屋を拝見させていただいたり、ホームステイのホストになっていただいたりなど、いろいろな形があります。

国際交流・国際協力に興味をお持ちの方、どのような活躍の場があるかわからない方、ぜひブースにお立ち寄りください。

11/19(土) 日本文化体験デー開催

ひろしま国際プラザのお祭り！日本文化体験デーを開催します。

けん玉、和紙人形、お手玉に竹とんぼなど、古くから伝わる日本文化を、ボランティアの皆さまのご協力を得て、外国の方へ温もりを込めて実演紹介するイベントです。留学生支援のフリーマーケットもあります。図書室では保存期間が終了した外国語雑誌や外国語新聞などを無料でご提供するリサイクルフェアも開催します。日本の方も参加できます。入場無料ですので、お気軽にお越しください。

お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金9:00～18:00

・情報センター・図書室開室時間 毎日10:30～19:00(平日は13:30～14:30休室)

URL: <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail: hicc@hiroshima-ic.or.jp



“世界を「見る」「知る」「体験する」” が開催されました！

平成23年7月16日・17日の2日間、東広島にあるひろしま国際プラザにて“世界を「見る」「知る」「体験する」” が開催されました。

「見る」…15団体による写真やパネルの展示、世界63カ国の絵本の展示、世界の国旗の展示が行われました。



写真やパネルの展示



世界の絵本の展示

「知る」…イランのダンスやカンボジアのココナッツダンス、平和や国際貢献について考えるワークショップが行われ、青年海外協力隊員のOBによるマラウィでの体験談を聞くことができました。



イランのダンス



カンボジアのダンス



ワークショップ

「体験する」…世界の楽器に触れたり、さまざまな国の民族衣装の試着、スリランカやガーナの料理を試食、外国語の会話レッスンを体験することができました。



民族衣装の試着▶

さらには、クイズラリーやリサイクルフェア、絵本の読み聞かせ、かえっこパズルなど盛りだくさんのイベントでした。また、ひろしま国際プラザ内にあるレストランでは、世界各国の味を楽しめるランチバイキングも好評でした。

子供から大人まで幅広い層の方が“世界の今”を知る良い機会になりました。



かえっこパズル



国旗の旗揚げゲーム

このイベントは
2～3年に1度開催予定ですので
次回もお楽しみに!!



広島から世界へ！ 9月下旬より、青年海外協力隊7人、シニア海外ボランティア5人の合計12人が、トンガ・マリ・ベナン・マーシャルなど11カ国に向けて出発します！



【青年海外協力隊】（※左から氏名・派遣国・職種）

岩淵 宏美	マリ	小学校教諭
小田 美由紀	ベナン	看護師
後藤 沙織	ベトナム	作業療法士
西岡 唯美	ミクロネシア	村落開発普及員
和田 恵子	ガーナ	感染症対策
植松 裕	マーシャル	水産資源管理
池田 陽介	トンガ	村落開発普及員

【シニア海外ボランティア】

北村 信二	トルコ	野菜栽培
松川 一和	パプアニューギニア	農業機械

大木 潤一	メキシコ	生産現場改善
亀井 且博	マーシャル	廃棄物処理
佐藤 哲夫	チリ	食品安全管理監査

赴任中の広島県出身 JICA ボランティア(人)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	29	26	55
シニア海外ボランティア	12	2	14
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	2	2

平成23年8月31日現在

～青年海外協力隊 派遣中隊員レポート～

茗荷谷 文枝さん 平成22年度 エクアドル派遣 幼児教育（三次市出身）

「青年海外協力隊員として海外で活動すること」私が学生の頃から抱いていた夢がようやく叶い、今年の3月末から南米のエクアドルで幼児教育隊員として活動しています。エクアドルは、太平洋に面した「コスタ」、山岳地帯の「シエラ」、アマゾン地域の「オリエンテ」、「ガラパゴス諸島」の4つの気候区に分かれる多様性に富んだ国です。

私の任地は首都のキトから南に760km離れた、サモラチンチベ県のジャンササ市という人口約1万人の町で、気候区はアマゾンの「オリエンテ」に属します。アマゾンと聞くと、湿度が高く蒸し暑い気候をイメージするかもしれませんが、ここは思ったほど湿度が高くなく、比較的過ごしやすい場所です。冷房器具は必要ありません。町では携帯電話やインターネットも普及しており、贅沢を言わなければ、生活に困ることはありません。通貨はUSドルで、物価は安いもので、日本の約4分の1程度です。食事は昼食が一日のメインで、米が主食です。レストランで定食を注文すると2ドルで、スープ（チーズ味かお肉のだしのきいた塩味）、ご飯、お肉を香辛料で煮込んだものか焼いたもの、煮込んだ豆、フルーツジュースやレモネードがワンプレートで運ばれてきます。

私の活動は、任地の26ヶ所の保育施設を巡回し、保育者の人材育成に協力することです。赴任前は、「体罰などが行われているのでは」と心配していました。しかし、活動を始めて約4か月、各施設の保育士さんたちは皆おらかな性格で、子ども達に対して深い愛情を持ち、いつも温かい眼で見守っていると感じています。人懐っこく、やんちゃでたくましい子どもたちは、転んだくらいでは泣きません。そんな子ども達と毎日過ごせることを幸せに感じながら日々の活動にやりがいを感じています。活動期間も残り1年半。思い残すことなくエクアドルでの生活、活動を満喫したいです。そして何よりも、私の活動を日本で支えてくださっている皆さんに、遠いエクアドルの地から日々感謝しています。



園児たちと紙ひこうきをうんていから飛ばそうとしている様子

<国際協力出前講座>

青年海外協力隊経験者やJICA関係者が、開発途上国や国際協力に関する話を『出前』します。この講座を通じて世界の途上国の現状について一緒に考えていきましょう。学校や地域活動関係者の皆さん、HIC配置の国際協力推進員までお気軽にご相談ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaiatsu/demae/index.html>

(JICA 大塚)

広島タイ交流協会は、1999年に「広島とタイの経済的、文化的交流を推進し、両者の経済発展と友好増進に貢献する」ことを目的に、非営利の任意団体として設立されました。

日本とタイは600年以上に亘る交流の歴史があり、近年は両国の皇室・王室間の親密な関係を基盤に、政治、経済、文化面にわたり幅広く交流と協力の絆を深化・発展させています。この度の東日本大震災に際して、タイの王室、政府、国民から寄せられた積極且つ多大な支援はその証左と言えます。

当協会の概要は以下のとおりです。タイ王国大使館以下の在日タイ国政府機関、広島県他の地域の関係機関並びに多くの関係者の方々のご支援ご協力も得て、種々の事業・活動を行っています。皆様のご理解とご賛同を賜りますようご案内申し上げます。

1. 代表者（会長） 西川 正洋 西川ゴム工業株式会社代表取締役社長

2. 事務所 〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5階

タイ国政府通商代表事務所広島内

TEL：082-249-1600 FAX：082-249-9921 E-mail：mitaphiaaphta@do2.enjoy.ne.jp

3. 主な事業・活動

- ・「総会・懇親会」開催
- ・「ひろしまロイクラトン祭」（タイの灯籠流しの祭り）開催
- ・「ひろしまフラワーフェスティバル」参加
- ・「タイ視察・交流ツアー」催行
- ・ニュースレター“ミタパーブ”（タイ語で友好の意味）発行
- ・ホームページ（<http://www.hiroshimathai.com/>）運用
- ・タイ語講師、通訳、翻訳紹介
- ・セミナー／講演会開催
- ・タイ語教室開講
- ・タイ料理講習会開催
- ・タイ・カービング教室開講

4. 会員数：法人会員60社、個人会員155名（2011年6月）



ウィーラサック駐日タイ大使講演会



ロイクラトン祭

Upcoming Events News No.118

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

平成23年(2011年)10月分

内 容

	平成23年度「重慶の日」実行委員会 『重慶の日』 広島市の友好都市である重慶市(中国)に対する理解を深め、一層の交流促進に寄与するためのイベントです。 ○中国、四川省の料理等の試食・試飲 ○重慶市の紹介 ○お楽しみ抽選会 時 間 13:00~15:30 定 員 300人 問合先 (公財)広島平和文化センター 国際交流・協力課 吉田 TEL:082-242-8879 その他 申し込み不要
23日 (日)	ヒッポファミリークラブ西日本 『マサチューセッツ工科大学 言語学 スザンヌ・フリン教授講演会』 ー「7カ国語で話そう」人間はどのように言葉を獲得するのかー 講師のスザンヌ・フリン教授は、幼少の頃から母国語以外のことばを話すことに対して興味を持ち、1983年にコーネル大学にて学位を取得。現在米国マサチューセッツ工科大学にて言語学及び多言語(たくさんの言葉)における言語獲得研究の教授として活躍中。30年以上にわたり人間の言語獲得について研究している。 講演会では、そのスザンヌ教授の言語教育最前線のお話とこの講演会を主催するヒッポファミリークラブが30年の多言語の自然習得実践活動の中で見つけたこと、今そこで何が起こっているかをあわせてお聞きいただきます。 時 間 14:00~16:00(開場13:30) 場 所 広島県立総合体育館 中会議室 定 員 150名 参加費 1名につき500円 問合先 ヒッポファミリークラブ広島事務所 神川邦子 TEL:0120-557-761(フリーダイヤル) その他 英語での講演会です。字幕つきで聞いていただけます。託児の用意があります(1名300円)。
29日 (土) ・ 30日 (日)	ぺあせろべ2011実行委員会 『国際交流フェスティバルぺあせろべ2011』 「ぺあせろべ」は、広島在住の様々な国籍の人々が、ステージ、ブースなどを中心に音楽や食、遊び等を通じ、お互いの文化に触れ、共に楽しむ国際交流イベントです。国際交流・協力活動や日本文化の紹介等を行っている多くの市民団体がステージやブースに出演、出店(出展)します。 (ぺあせろべとは、「PEACE & LOVE」をスペイン語風に発音して作られた言葉です。) ○ステージ(30日(日)のみ実施)…国際色豊かな舞踊や楽器演奏、ゲームなど ○ブ ー ス(29、30両日開催)…各国、地域の料理や民芸品等の展示・販売、日本文化等の紹介、各団体の活動紹介、参加者体験企画など ○その他、多文化共生コーナー(多言語による情報コーナー)や参加者同士が交流するアウトドアゲームなど 時 間 29日(土) 13:00~16:00、30日(日) 10:00~16:00 場 所 中央公園芝生広場(広島市中区基町) 定 員 なし 参加費 無料(但し、バザー物品や軽食等の販売あり) 問合先 (公財)広島平和文化センター 国際交流・協力課 松尾 TEL:082-242-8879 その他 少雨開催、29日(土)はブースのみ実施
30日 (日)	広島県国際交流協会 『10月講演会』 A discussion: "What do you do to cope with heat stroke or other heat-related diseases?". A presentation entitled "Mexico: multicultural nation" will be given by Ms.Vania De La Vega Shiota on October 30th, the fifth Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "Red River Valley". Following the song, the above-mentioned concern will be discussed briefly. 時 間 13:00~ 場 所 ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合先 広島県国際交流協会 松浦 TEL:0848-37-3518 E-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

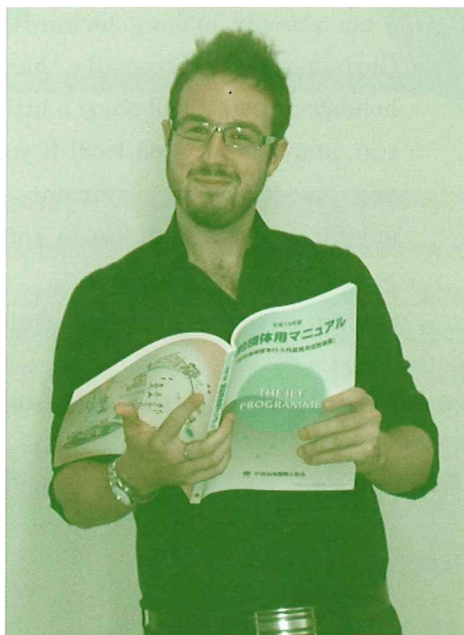
平成23年(2011年)11月分

内 容	
5日 (土)	広島日仏協会 『フランス文化講演会』 演 題 『パンと葡萄酒と、そしてチーズ』 講 師 大田 京子 (CPA認定チーズプロフェッショナル、フランスチーズ鑑評騎士、TALK認定テーブルコーディネーター) フランスは世界一のチーズ大国で、食生活の基本です。歴史の中のチーズの楽しいエピソード、チーズの製造、選び方、ワインとパンとの合わせ方、フランスチーズを巡る旅のお話など。数種類のフランスチーズの試食もあります。 時 間 14:00～15:30 場 所 広島テレビ放送12階講堂 (広島市中区中町6番6号) 定 員 30～40人 参加費 無料 問合先 広島日仏協会 西澤 TEL: 082-245-8576
6日 (日)	世界食料デー広島実行委員会 『第3回世界食料デー広島大会』 テーマ 『ハンガーゼロの世界を目指して…迫り来る食料危機』 内 容 1: コンサート : 日本国際飢餓対策機構 親善大使 上原令子 2. 講 演 : 日本国際飢餓対策機構 総主事 田村治郎 募金先 エチオピア: ゆたかないのちの回復プログラム スーダン : 南スーダン ルンベック村 学校修復プロジェクト ルワンダ : 青少年育成プロジェクト、平和構築プロジェクト フィリピン : 世界里親会 日 本 : 東日本大震災復興支援 など 時 間 15:00～17:00 場 所 ゲバンドホール (中区本川町2-1-13和光パレス21 5階) 定 員 300人 参加費 1,000円 (会場での募金の協力をお願い致します) 問合先 (財)日本国際飢餓対策機構 広島事務所 宿利 TEL: 082-831-1214 FAX: 082-877-3961 E-mail: kshukuri@jifh.org 留学生会館 『留学生会館まつり2011』 留学生の料理屋台、踊り、演奏、歌、スピーチコンテストを行います。 また、留学生と直接お話するコーナーもあります。(※現在留学生が企画・運営していますので、お楽しみに) 時 間 10:00～16:30 場 所 留学生会館 (広島市南区西荒神町1-1) 申込み 不要 参加費 無料 問合先 広島市留学生会館 久保田 TEL: 082-568-5931 その他 雨天決行
20日 (日)	広島県国際交流協会 『11月講演会』 A short discussion: New efficient technique to produce induced pluripotent stem cells, or iPS cells. A presentation entitled "Tourism in Albania" will be given by Mr. Enian Cela on November 20th, the third Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "The rose." Following the song, the above-mentioned concern will be discussed briefly. 時 間 13:00～ 場 所 ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合先 広島県国際交流協会 松浦 TEL: 0848-37-3518 E-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

平成23年(2011年)12月分

内 容	
11日 (日)	府中町国際交流協会 『第10回中学生英語暗唱大会・外国人日本語スピーチコンテスト』 ○中学生英語暗唱大会……府中町在住の中学生対象。学校で使っている教科書から抜粋して暗唱する。 ○外国人日本語スピーチコンテスト……府中町及び近隣在住の外国人対象。テーマは自由。4分以内の日本語によるスピーチ。 ※参加についてはそれぞれ参加資格がありますが、参観は自由です。どなたもご覧になっていただけます。 時 間 13:00～17:00 場 所 府中町生涯学習センターくすのきプラザ 1F ギャラリー 定 員 中学生: 30人、外国人: 10人 参加費 無料 問合先 府中町国際交流協会 事務局 石田 TEL: 082-285-6711 (電話受付は火・木曜日9:00～12:00) E-mail: futyukoryukyokai@if-n.ne.jp URL: http://aki-fuchu.jp/
18日 (日)	広島県国際交流協会 『年末ポトラックパーティー』 We will have the year-end pot-luck party on December 18th, the third Sunday, at 12:00 noon here in the Lounge. Please bring some food or drinks in the party. Let's enjoy eating, drinking, chatting, and singing together. 時 間 12:00～ 場 所 ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合先 広島県国際交流協会 松浦 TEL: 0848-37-3518 E-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

By Guillaume Lamothe



Hello, good day, and salutations everyone! What a month it has been, and what a month it promises to be! As we head into the cooler weeks of October, let me introduce myself: My name is Guillaume Lamothe (pronounced Gi-ohm La-mutt—I know; it's French), and I am the new resident CIR (Coordinator of International Relations) at the wonderful Hiroshima International Centre (or Center, for all you Americans out there)!

Now; the topic of today's column is, well, myself. I know, dear readers, your interest in my experiences may be slim to none, but I think it only fair, nay, essential, that I should speak about them while I have the time. I will, after all, be putting down some thoughts in these pages every three months or so for the foreseeable future, and with a better understanding of who I am (or, at least, who I think I am), it may be easier for you to understand the various opinions that you may find sprinkled in my future columns.

First things first: I was born in Canada, in the town of Sudbury in Ontario, to be precise. I guess that makes me Canadian, which is something my passport continues trying to convince me of every time I open it to look inside. My mother, however, is not from Canada, but from Belgium, so I have always, as they say, had “one foot on either side of the Atlantic”. This early sort of internationalism had a peculiar effect on me: in English-speaking Nova Scotia, where I was raised, I became “the French kid”, since that was what I spoke at home with my parents. Then, when I went to Belgium, at age eight, I became “the American kid”, since I was from “across the pond”. Returning to Canada a year later, but this time to French-speaking Quebec, I became “the English kid”; I spoke English better than any of my classmates. Living for a few months in Louisiana, I was “the Canadian kid”. Finally, when I came to Japan on a high-school exchange, I became the “*gaiikokujin* kid”. In a strange way, I have never in my whole life really been accepted as actually *coming from anywhere*. Wherever I was, I have always been from *somewhere else*.

This is not to say that I regret my lack of a real homeland. Far from it; for me, “home” is not a place; it is merely where the people I love happen to be. This non-geographic way of thinking has helped me travel the world in considerable comfort, and though I have lived in Japan less than three years, the country is so full of wonderful people that I have already begun to consider it “home”. I am, of course, not completely rudderless; I do hold a firm set of social values, such as the belief in democracy, free speech, the separation of church and state, etc, and also hold a deep-seated affection for Canada as embodying many of these values. When pondering my place in the world, however, I like to think of what the famous French philosopher Montesquieu said: “I am a citizen of humanity first and by necessity, and a citizen of France second, and only by accident.”

Here is hoping that, as an “accidental” Canadian, I can live up to that idea.



Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
Oct.		
10	Health and Sports Day	Nat'l Holiday
15	Kikka Chrysanthemum Festival	Itsukushima Shrine (Miyajima)
Nov.		
3	National Culture Day	Nat'l Holiday
15	Hot Coal Walking	Daishoin Temple (Miyajima)
23	Labour Thanksgiving Day	Nat'l Holiday
Dec.		
23	Emperor's Birthday	Nat'l Holiday

Editor's notes:

Hurray! It's October! Say goodbye to the sweltering summer heat, hello to the changing leaves, and trick or treat to Halloween (if that's your thing)! Myself, I am already looking forward to this Christmas, and especially the winter holidays, where I will enjoy a little bit of rest, and a lot of good food! If you have any questions or comments about anything, please feel free to e-mail me at hic05@hiroshima-ic.or.jp
See you all in the new year! - Guillaume

「カンボジア・スタディツアー」実施のお知らせ

HICでは、平和貢献人材育成事業の一環として、本年度も独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA中国）と連携して、カンボジア・スタディツアーを実施することを決定しました。

今回で第8回目となるこのツアーでは、JICAやNGOが事業を実施している国際協力の現場や広島県が取り組む復興支援プロジェクトを視察する等、通常のツアーでは訪れることのない場所を訪問し、貴重な経験を得ることができます。（その他、アンコール遺跡やトゥールスレン収容所跡等の歴史的遺跡や施設、マーケット等にも行く予定です。）

実施時期は平成24年2月中旬で、例年通り6泊8日を予定しています。



正式な日程や募集要項等の詳細につきましては、11月中旬を目安に、HIC及びJICA中国のホームページに掲載する予定です。

国際協力や平和貢献に対する理解を深めていただく絶好の機会です。皆さんの参加をお待ちしております。

*本年度のツアー企画概要は、下記URLより確認できます。

<http://hiroshima-ic.or.jp/info/hic/2011/08/23.html>

*昨年度のツアー報告書は、下記URLより確認できます。

<http://hiroshima-ic.or.jp/hic/exchange/personnel/heiwakouken23.html>



財団法人 ひろしま国際センター
HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階

Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>

(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>

E-mail: hic@hiroshima-ic.or.jp

